

# 平成23・24年度嵐山町建設工事請負等 入札参加資格受付について

町では平成21・22年度嵐山町競争入札参加資格審査申請より、埼玉県及び県内市町等と共同で資格審査申請を実施しており、今回、平成23・24年度分の建設工事請負等入札参加資格審査申請の受付を、以下の予定で実施します。

## ■対象

嵐山町が発注する建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理の受注を希望される方

## ■申請受付期間

- ①新規申請（嵐山町に登録されていない方、前回嵐山町に独自に申請した方）  
9月14日（火）～10月1日（金）
- ②更新申請（前回共同参加受付より嵐山町に登録した方、埼玉県電子入札共同システムに登録し、業者IDをお持ちの方）  
10月18日（月）～11月30日（火）

## ■申請方法

- ①新規申請…書類による対面申請  
※受付は事前予約制となります。
- ※受付会場は埼玉教育会館（さいたま市浦和区高砂3-12-24）を予定
- ②更新申請…電子入札共同システムを利用した電子申請及び書類の送付  
※現在、埼玉県電子入札共同システムに登録が

あれば、今回新たに参加する市町村等にも更新申請ができます。

## ■説明会の開催

- ①8月9日（月）  
13時30分～  
秩父宮記念市民会館（秩父市）
- ②8月11日（水）  
9時30分～  
川越西文化会館（川越市）
- ③8月11日（水）  
13時30分～  
川越西文化会館（川越市）
- ④8月12日（木）  
9時30分～  
パストラルかぞ（加須市）
- ⑤8月12日（木）  
13時30分～  
パストラルかぞ（加須市）

## ■その他

①嵐山町では今回より以下の資格審査に関して

## 平成22年度 介護予防健診

### ■実施期間

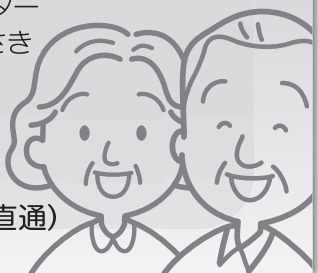
7月1日（木）～9月30日（木）  
※昨年より期間が短くなっています。

### ■対象者

対象の方には受診券を郵送しています。

## こちら 地域包括支援センター です

包括支援センターはシニアの皆さんの総合相談窓口です。  
なお、在宅介護支援センターらんざん苑及びおおむらさきは3月31日をもって、廃止となりました。ご了承ください。



問合せ ☎62-0716（直通）

## 介護予防健診を受診しましょう！

元気度チェック表をご返送いただきましてありがとうございます。25項目を確認してみ、どんな感想をお持ちになりましたか？

地域包括支援センターでは、ご返送いただいたチェック表を確認し、一定の基準に該当した方に、介護予防健診の受診票をお送りいたしました。受診券が届いた方は、ご自分の健康のため介護予防健診を受診しましょう。

健診結果を確認した後、地域包括支援センターから、教室や事業のご紹介などの連絡をいたします。楽しく、ためになる教室を予定しておりますので、ぜひ健診を受けて自分の強化ポイントを確認しましょう！

## 実施医療機関

医療機関名	住所	電話番号
吉田医院	志賀263-124	62-5277
渡辺産婦人科	菅谷249-98	62-5885
水野産婦人科	菅谷148	62-3015
武蔵嵐山病院	太郎丸135	62-7282
西大寺医院	志賀192-31	62-1286
野崎クリニック	千手堂693	61-1810
みんなの診療所	鎌形1331-1	61-0248

## ■持ち物

- 介護予防健診受診券
- 介護予防健診受診票
- 元気度チェック表
- 健康保険証、生活保護受給者証等

## ■費用

無料

は全て埼玉県入札参加資格審査共同受付より申請を受け付けることとなります。独自に受け付けませんので、十分ご注意ください。

- ・建設工事
- ・設計、調査、測量（コンサルタント業務）
- ・土木施設維持管理

②嵐山町で独自で受け付ける資格審査は以下のとおりです。

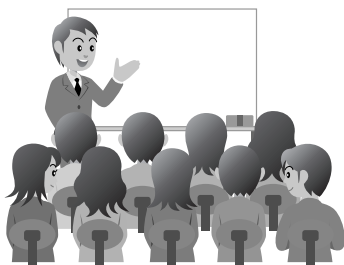
- ・物品納入、印刷製本
- ・賃貸借（リース）
- ・その他業務委託（保守管理業務委託、調査分析、建設資材、不動産鑑定など）

③嵐山町で独自に受け付ける資格審査の時期は平成23年1月以降に予定しています。

④詳細については、埼玉県入札審査課のホームページまたは嵐山町役場のホームぺージで順次掲載していきますので、ご確認ください。

## 問合せ

県入札審査課  
☎048・830・5771  
総務課 人権・安全安心担当  
☎62・2151（直通）



## シリーズ 高齢者の健康①

### 暑い夏を さわやかに過ごす

～熱中症予防のポイント～

日が伸びて朝や夕方に散歩・ウォーキングする方が多くなってきました。健康のために運動をされている方も多いと思います。夏の始まりや、気温が急に高くなる今こそ、熱中症に注意が必要です。



高齢者は熱中症になりやすい  
若い時に比べて体の水分が少なくなっており、体温を調節する能力が低下しています。

- ・汗がでるのが遅くなり、汗の量が減ります
- ・運動後の血流量が低下し、放熱作用が弱くなります
- ・のどの渇きを強く感じないため水分不足になりがちです

### 運動時に気をつけること

- ①こまめに水分を補給しましょう
- ②休憩は30分に1回程度とりましょう
- ③服装は吸水性・通気性の良い素材で軽装にしましょう

運動した直後の体重減少は、体内の水分減少です。温度・湿度、お持ちの疾患やその日の体調に応じて、必要な水分量は変わってきます。具合が悪くなったときは、早めに運動を中止して休みましょう。それこそが、運動を継続するための秘訣です。